

# 財政公表

皆さんからの税金や国・県からの支出金などは、どのくらい入りのように使われたのでしょうか。奥ノ木市長就任時の平成26年から令和3年度までを比較しながら、令和2年度の決算状況をお知らせします。これまでも適正な予算執行に努めてきましたが、今後もさらなる健全な財政運営を目指して参ります。

## ★ 令和2年度決算のポイント

### 過去最大の歳出決算額(一般会計)

	平成26年度 当初予算	平成27年度 当初予算	平成28年度 当初予算	平成29年度 当初予算	平成30年度 当初予算	令和元年度 当初予算	令和2年度 当初予算	令和3年度 当初予算
一般会計 当初予算	1,732億円	1,762億円	1,862億円	1,916億円	1,892億円	2,078億円	<b>2,079億円</b>	2,096億円
平成26年度との比較		<b>30億円増</b>	<b>130億円増</b>	<b>184億円増</b>	<b>160億円増</b>	<b>346億円増</b>	<b>347億円増</b>	<b>364億円増</b>
一般会計決算	平成26年度決算 1,764億円	平成27年度決算 1,813億円	平成28年度決算 1,879億円	平成29年度決算 1,979億円	平成30年度決算 1,854億円	令和元年度決算 2,020億円	令和2年度決算 <b>2,696億円</b>	令和3年度 1,561億円増

### 税収確保の成果

収納率を平成25年度末の90.6%から毎年着実に伸ばし、昨年に引き続き過去最高の税収を確保

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算
市税	891億円	913億円	918億円	939億円	952億円	963億円	974億円	<b>984億円</b>
収納率(決算時)	90.6%	91.5%	92.5%	94.2%	95.6%	96.6%	97.2%	<b>97.3%</b>
平成25年度との比較		<b>22億円増</b>	<b>27億円増</b>	<b>48億円増</b>	<b>61億円増</b>	<b>72億円増</b>	<b>83億円増</b>	<b>93億円増</b>

### 土地開発公社借入金を含めた市全体の借入金残高を削減

(一般・特別・企業会計と土地開発公社借入金の合計) ※( )内は一般会計決算に対する地方債残高の割合

	平成26年度決算 (83.1%)	平成27年度決算 (78.6%)	平成28年度決算 (76.2%)	平成29年度決算 (75.0%)	平成30年度決算 (79.1%)	令和元年度決算 (73.3%)	令和2年度決算 (55.2%)
市債残高							
一般会計	1,466億円	1,425億円	1,431億円	1,485億円	1,466億円	1,481億円	<b>1,488億円</b>
特別会計	776億円	767億円	760億円	757億円	756億円	209億円	211億円
企業会計	317億円	311億円	314億円	315億円	310億円	852億円	845億円
土地開発公社借入金 ※土地開発基金含む	175億円	166億円	152億円	128億円	89億円	68億円	<b>58億円</b>
合計	2,734億円	2,669億円	2,657億円	2,685億円	2,621億円	2,610億円	<b>2,602億円</b>

### ※特に土地開発公社借入金的大幅な圧縮を図りました。

	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
土地開発公社借入金	189億円	<b>175億円</b>	<b>166億円</b>	<b>152億円</b>	<b>128億円</b>	<b>89億円</b>	<b>68億円</b>	<b>58億円</b>

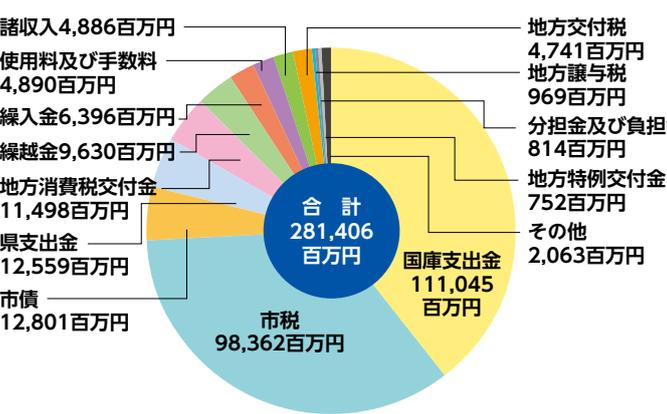
平成26年2月 460億円

8年で402億円の大幅な圧縮

## 一般会計決算額の内訳

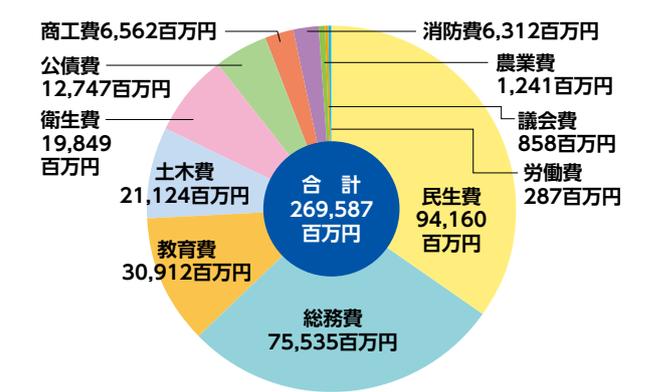
### 歳入 2,814億600万円

さらなる税収確保に努め、市制施行以来、最大の収納額となった市税は、前年の約974億円と比べ約10億円の増、特別定額給付金をはじめとした新型コロナウイルス感染症の対応により国庫支出金は、前年の約397億円と比べ約713億円の増となりました。



### 歳出 2,695億8,700万円

新庁舎建設事業、イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)整備事業、川口市立高等学校建設事業の3大プロジェクトにおいて、第一本庁舎が完成した前年度と比べ約61億円の減があったものの、特別定額給付金給付事業などのため総務費は約519億円の増、NHK跡地整備事業などのため商工費は約57億円の増となりました。



# 令和2年度 主な事業の決算額

## 3大プロジェクトの推進

- 新庁舎建設事業  
(2期棟・立体駐車場の実施設計、旧本庁舎の解体工事)  
→2億4,300万円
- イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)整備事業  
→8億1,700万円
- 川口市立高等学校建設事業  
(アリーナ棟等建設工事、第2校地整備、旧川口高等学校解体工事等)  
→37億5,800万円

## 「人々の元気」に関わる施策

- 多文化共生推進事業 →2,000万円
- 子ども発達相談センターの開所(4月20日)  
→1億1,300万円
- 保育所等の整備 190施設・11,562人  
(前年度比6施設・353人増) →10億2,300万円
- 保育士確保を目的とした保育士賃金補助  
129施設・1,261人  
(前年度比12施設・140人増) →2億1,100万円
- 保育士の負担軽減と保育の質向上を図る保育所のICT  
導入 →1,300万円
- 中学校体育館空調機設置事業 →2億9,100万円

## 「産業の元気」に関わる施策

- 市産品フェア2020の開催  
→7,500万円



## 「くらしの元気」に関わる施策

- こども夜間救急診療所開所(4月1日) →8,600万円
- 中学校防犯カメラ設置事業 →800万円

## 「まちの元気」に関わる施策

- 地籍調査事業 →6,000万円
- 区画整理事業等の促進 →72億1,500万円
- 中学校夜間学級関連事業 →4,100万円

## 「地域の元気」に関わる施策

- グリーンセンター再整備事業 →4億3,200万円
- 近未来技術等社会実装事業 →8,300万円
- NHK跡地整備事業 →37億5,300万円
- 市街地再開発事業等への支援 →6億7,900万円
- 生物多様性保全事業 →900万円

## 社会資本・公共施設の整備

### ○災害に備えたインフラ整備

- 江川第3調節池整備事業 →5億600万円
- 東川口駅周辺浸水対策事業 →12億7,100万円
- 沼田公園整備事業 →2億200万円

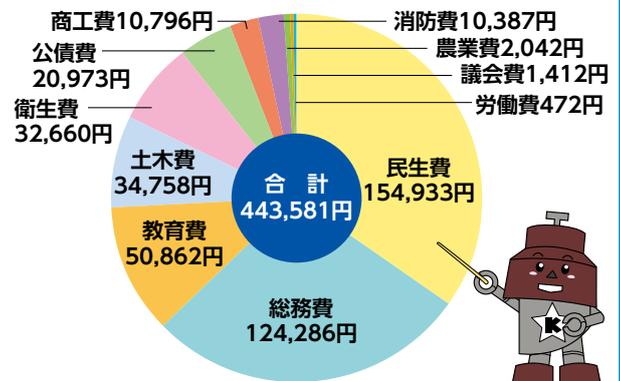
### ○主な大規模修繕・改修・改築事業

- 川口駅西口ペDESTリアンデッキ  
上屋設置工事 →1億2,800万円
- 青木会館改築事業 →1億4,500万円
- 鳩ヶ谷公民館改築事業 →1億300万円
- 領家公民館改築事業 →6億800万円
- 領家保育所改築事業 →3億3,800万円
- 仲町保育所改築事業 →1億5,500万円
- 市営前川住宅建替事業 →12億6,800万円
- 前川図書館改築事業 →10億5,300万円
- 小中学校施設の維持補修・整備 →16億400万円
- 総合文化センター・リリア改修工事 →1億6,900万円



## 一般会計の決算額を市民1人あたりでみると…

- 民生費** 高齢者・障害者・児童・生活困窮者に対する福祉など、市民の安定した社会生活を保障するための経費
- 総務費** 一般的な管理事務、企画調整、財政・財務管理、財産管理、戸籍、統計、課税・徴収および選挙に要する経費
- 教育費** 幼稚園・小学校・中学校・高等学校、図書館・公民館・科学館・スポーツセンターなどに要する経費
- 土木費** 道路・河川・公園などの維持・整備および都市計画・再開発などのまちづくりに要する経費
- 衛生費** 生活習慣病予防対策や予防接種などの保健事業、環境対策およびごみ収集・焼却など市民の衛生的な生活環境を保持するための経費
- 公債費** 市債(市の借金)の償還費



## 令和2年度特別・企業会計決算額

会計種別	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
特別会計(12会計)	1,354億2,600万円	1,323億7,100万円	148億9,700万円
企業会計(3会計)	529億3,900万円	573億400万円	56億800万円

※企業会計歳入不足分は、内部留保資金(減価償却費など)等で補填